

キリスト・イエスにあって敬虔に生きようと願う者はすべて

“good” — **G2095 eu** — 良い、善い

神を良く礼拝することが敬虔である

“礼拝” — **G4576 sebomai** — 敬虔な、信心深い、礼拝

神への正しい礼拝

“力” — **G1411 dunamis** — 力、権力、強さ

神の御力は、私たちにすべてのものを与えてくださった

“演習” — **G1128 gumnazo** — 鍛錬すること、訓練すること

敬虔のために自分自身を鍛錬せよ

“歩む” — **G4748 stoicheo** — 秩序正しく歩む、隊列を保って進む

御霊によって歩もうではないか

“不敬虔” — **G763 asebeia** — 不敬虔、不信心

不敬虔と世俗の欲を否定して

“満足” — **G841 autarkeia** — 自足、十分であること

満足を伴う敬虔は大きな利益である

“戦い” — **G73 agon** — 闘争、戦い、競走

信仰の善き戦いを戦いなさい

“コース” — **G1408 dromos** — 競走、進路

私はその道のりを走り終えた

“忍耐する” — **G3306 meno** — 留まる、続ける、耐え忍ぶ、残る

主の言(ことば)は永遠に存(のこ)る

“実行する” — **G2005 epiteleo** — 達成する、成し遂げる、遂行する

キリスト・イエスの日まで、それを成し遂げてくださる

(私個人の思い—この言葉の成り立ちに注目してほしい。ストロング辞典によれば、eusebeia(G2150、敬虔)は二つの語の上に成り立っている。G2095、良い・善い、とG4576、礼拝する・敬うという意味だ—良く礼拝すること、すなわち神への良き犠牲である。したがって敬虔とは、神を「良く」犠牲することであり—言葉だけでなく、歩みの全体においてそうすることなのだ。そしてeusebos(G2153、敬虔な)は同じ語が実際に足で立ち上がった形であり—一人が持っている何かではなく、人が生きる生き方そのもののものだ。)

ヘブライ語キーワード

“敬虔な” — **H2623 chaciyd** — 敬虔な、信心深い、聖徒、聖なる者

主は、神を敬う者をご自分のために取り分けられた

“完全な” — **H8549 tamiym** — 欠けたところがなく、完全で、健全で、全き、傷のない

わたしの前に歩み、全き者であれ

“慈悲” — **H2617 chesed** — 恩恵、親切、慈悲

敬虔な人は、憐れみの人である

“親切” — **H2616 chacad** — 親切であること;自らを慈悲深く示すこと

この語は「親切であること」を意味し、そこから憐れみが生まれる。

“go” — **H8637 tirgal** — 歩ませること、行かせること

エフライムに歩むことをも教えたのは私であった

(私個人の思い—chaciyd(H2623、godly)はchesed(H2617、mercy)と密接に関係しており、どちらも一つの語根chacad(H2616、to be kind)から来ている。旧約聖書におけるgodlyな人とは、mercyの人である—彼はあわれみを受け、そしてそれを示すのである。そしてtamiym(H8549、perfect)とは欠点のない肉のことではない。Strong'sによれば、entire, complete, sound, wholeを意味する。わたしの前に歩み、WHOLE(全き者)であれ—その歩みにおいて、あなたの全存在をもって、何一つ隠し持つことなく。)

I. 探し方 — 見つけ方

(私個人の思い——すべての歩みは低いところから始まる。赤ん坊は足で歩く前に、まず手と膝で這う。誰も敬虔において完全な姿で生まれる者はいない。それはまず「見出される」ものでなければならない。そして、これらの証人たちがその場所を示している。それは自分の力によって得るものではなく——彼の神の力によって「与えられる」もの——デュナミス(G1411、力)——であり、それは一人の人格において見出される。低いところから始め、小さく始め、そして始めよ。)

A. テモテへの第一の手紙 4:7 しかし、俗悪で愚にもつかない作り話は避けなさい。信心のために自分を訓練しなさい。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G1128 gumnazo ・ ■ G2150 eusebeia

しかし、俗悪で愚にもつかない作り話は避けなさい+信心のために自分を訓練しなさい。

(私の個人的な考え——ストロングによれば、gumnazo(G1128、鍛錬する)は、競技のように訓練することを意味する。敬虔さはじっと座っている者に訪れるのではなく、それに向けて自らを鍛錬しなければならない。しかし次の証しに注目せよ、訓練がすべてだと思わないように。そのもの自体は与えられるのである。)

B. ペテロの第二の手紙 1:3 いのちと信心とにかかわるすべてのことは、主イエスの神聖な力によって、わたしたちに与えられている。それは、ご自身の栄光と徳とによって、わたしたちを召されたかたを知る知識によるのである。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G2150 eusebeia ・ ■ G1922 epignosis

いのちと信心とにかかわるすべてのことは、主イエスの神聖な力によって、わたしたちに与えられている。それは、

C. テモテへの第一の手紙 3:16 確かに偉大なのは、この信心の奥義である、「キリストは肉において現れ、霊において義とせられ、御使たちに見られ、諸国民の間に伝えられ、世界の中で信じられ、栄光のうちに天に上げられた」。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G2150 eusebeia

敬虔の奥義は偉大である。すなわち、神は肉において現れ給えり。

(私個人の思い——ここに敬虔が見出される。敬虔の奥義とは規則や律法ではなく、一人の人格である。神は人の肉において現された。敬虔を見出すには、彼を見出せ。御子を持つ者は、その前にある道の全てを持っているのである。)

D. テトスへの手紙 1:1 神の僕、イエス・キリストの使徒パウロから——わたしが使徒とされたのは、神に選ばれた者たちの信仰を強め、また、信心にかなう真理の知識を彼らに得させるためであり、

原語キー / **STRONG'** S: ■ G1922 epignosis ・ ■ G2150 eusebeia

真理を知ること——それは敬虔にかなうものである。

E. ペテロの第一の手紙 2:2 今生れたばかりの乳飲み子のように、混じりけのない霊の乳を慕い求めなさい。それによってお祝い、救いに入るようになるためである。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G1051 gala ・ ■ G837 auxano

生れたばかりの乳飲み子のように、御言葉の混じりのない乳を慕い求めなさい——それによって成長するためです。

F. 申命記 1:31 あなたがたはまた荒野で、あなたの神、主が、人のその子を抱くように、あなたを抱かれるのを見た。あなたがたが、この所に来るまで、その道すがら、いつもそうであった』。

原語キー / **STRONG'** S: ■ H5375 nasa

あなたの神主があなたを担われた+人がその子を負うように+あなたがたが行ったすべての道において。

G. ホセア書 11:3 わたしはエフライムに歩むことを教え、彼らをわたしの腕にいだいた。しかし彼らはわたしにいやされた事を知らなかった。

原語キー / **STRONG'** S: ■ H8637 tirgal

わたしはエフライムに歩むことを教え+彼らをわたしの腕にいだいた。

(私の個人的な考え——ストロングのコンコルダンスによれば、tirgal(H8637、行くことを教える)は、歩ませることを意味する。神はその御言の中に、子に最初の一步を教えることについての言葉を持ち、それを御自らのものとされる:われはエフライムに歩むことを教へ、その腕にてこれを抱きたり。主は担い、教え、癒される。誰もこの歩みを一人で学ぶことはない。)

H. 詩篇 34:11 子らよ、来てわたしに聞け、わたしは主を恐るべきことをあなたがたに教えよう。

原語キー / **STRONG'** S: ■ H3374 yirah

子らよ、来てわたしに聞け+わたしは主を恐るべきことをあなたがたに教えよう。

I. ヘブル人への手紙 11:6 信仰がなくては、神に喜ばれることはできない。なぜなら、神に来る者は、神のいますことと、ご自身を求める者に報いて下さることとを、必ず信じるはずだからである。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G1567 ekzeteo

神に来る者は、神が存在すること、また、神を熱心に求める者に報いてくださることを、信じなければならない。

J. 使徒行伝 3:2 生れながら足のきかない男が、かかえられてきた。この男は、宮もうでに来る人々に施しをこうため、毎日、「美しの門」と呼ばれる宮の門のところに、置かれていた者である。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G941 bastazo

母の胎から足なえであった男は、担がれて、毎日神殿の門に置かれていた。

K. 使徒行伝 3:12 ペテロはこれを見て、人々にむかって言った、「イスラエルの人たちよ、なぜこの事を不思議に思うのか。また、わたしたちが自分の力や信心で、あの人を歩かせたかのように、なぜわたしたちを見つめているのか。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G2150 eusebeia ・ ■ G4043 peripateo

なぜわたしたちを見つめているのか+まるで自分自身の力や敬虔によってこの人を歩かせたかのように?

L. 使徒行伝 3:8 踊りあがって立ち、歩き出した。そして、歩き回ったり踊ったりして神をさんびしながら、彼らと共に宮にはいって行った。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G4043 peripateo

踊りあがって立ち、歩き出した+彼らと共に宮にはいって行った。

(私の個人的な思い—最初の一步をひとりの人の中に見よ。生まれつき足なえで、担がれていた—あなたも同様であった。ペテロの口にある「聖」という言葉はエウセベイア(G2150, godliness)である。すなわち、人の力や敬虔によって彼が歩けるようになったのではない。神が歩みを与えられたのであり、その人の最初の歩みは神殿に入り、神を讃美することであった。今、あなたが立っているのなら、歩むことを学びなさい。)

II. 歩む—それを得たときに、それをどうすべきか

(私個人の思い—赤子は足で立った。今度は歩みが始まる。敬虔とは箱にしまっておくものではなく、日ごとに歩んでいく道である。これらの証人たちの中で、神が敬虔で全き者と呼ばれた人々に注目してほしい—神とともに歩んだ人々である。そして、その歩みが求めるものにも注目してほしい—時折の見せかけの善行ではなく、最後まで全き心を尽くすことである。)

A. 創世記 5:24 エノクは神とともに歩み、神が彼を取られたので、いなくなった。

原語キー / **STRONG'** S: ■ H1980 halak

エノクは神とともに歩み+神が彼を取られたので、いなくなった。

B. 創世記 6:9 ノアの系図は次のとおりである。ノアはその時代の人々の中で正しく、かつ全き人であった。ノアは神とともに歩んだ。

原語キー / **STRONG'** S: ■ H8549 tamiym ・ ■ H1980 halak

ノアは義人であり、その時代にあって全き人であった。ノアは神とともに歩んだ。

C. 創世記 17:1 アブラムの九十九歳の時、主はアブラムに現れて言われた、「わたしは全能の神である。あなたはわたしの前に歩み、全き者であれ。

原語キー / **STRONG'** S: ■ H1980 halak ・ ■ H8549 tamiym

わたしの前に歩み+全き者であれ

(私自身の思い—三人の父たちを並べて置き、御言葉が育っていく様を見よ。エノクについては、彼は神とともに歩んだ、と書かれている。ノアについては、その世代にあって全き者であり、彼は神とともに歩んだ、と。そしてアブラムには、命令として語られている。わたしの前に歩め、全き者であれ、と。最初の二人について書かれていたことが、三人目には命じられている—そしてタミーム(H8549, 全き)とはストロングによれば、全体、完全、健全という意味である。神とともに歩むこととは、常に、全き人の歩みであった。)

D. ミカ書 6:8 人よ、彼はさきによい事のなんであるかをあなたに告げられた。主のあなたに求められることは、ただ公義をおこない、いつくしみを愛し、へりくだってあなたの神と共に歩むことではないか。

原語キー / **STRONG'** S: ■ H3212 yalak

正義を行い、憐れみを愛し、へりくだってあなたの神と共に歩め。

E. 詩篇 4:3 しかしあなたがたは知るがよい、主は神を敬う人をご自分のために聖別されたことを。主はわたしが呼ばれる時におききくださる。

原語キー / **STRONG'** S: ■ H2623 chacyd

主は敬虔な者をご自分のために取り分けられた。私が呼ぶとき、主は聞かれる。

(私の個人的な思い—ここに、chacyd(H2623, 敬虔な者)が立っている。chesed(H2617, 恵み)の人である。敬虔な者は群衆の中に埋もれることはない。主は彼を自分のために選び分け、彼が呼び求めるとき、これに耳を傾けられる。敬虔に歩むとは、選び分けられて歩むこと、そして聞き入れられて歩むことである。)

F. コロサイ人への手紙 2:6 このように、あなたがたは主 キリスト・イエスを 受け入れたのだから、彼 にあつて 歩 きなさい。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G4043 peripateo

このように、あなたがたは主 キリスト・イエスを 受け入れたのだから → 彼 にあつて 歩 きなさい。

G. コロサイ人への手紙 1:10 主 のみこころにかなった生活をして 真 に主を 喜ばせ、あらゆる 良いわざを行って 実を 結び、神を知る 知識をいよいよ 増し 加えるに 至ることである。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G4043 peripateo

主に喜ばれるように、あらゆる点で歩み、すべての良い働きにおいて実を結ぶ。

H. ガラテヤ人への手紙 5:25 もしわたしたちが御霊によって 生 きるのなら、また 御霊によって 進もうではないか。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G4748 stoicheo

もしわたしたちが御霊によって 生 きるのなら → また 御霊によって 進もうではないか。

(私の個人的な思い——ここでの「歩む」という語は、ありふれたものではない。タグを見よ、G4748:ストロングによれば、隊列を組んで進む、歩調を合わせるという意味である。御霊が先立ち、敬虔な者はそれと歩調を合わせる。よく気づいてほしい——すでにこの歩みは、兵士の歩みのように響いている。競走も、戦いも、遠くはない。)

I. ヨハネの第一の手紙 2:6 「彼 におる」と言う者は、彼 が歩かれたように、その人 自身も 歩 くべきである。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G4043 peripateo

「彼 におる」と言う者は → 彼 が歩かれたように、その人 自身も 歩 くべきである。

J. テモテへの第一の手紙 2:1 そこで、まず 第一に 勧める。すべての人のために、王 たちと 上に 立っているすべての人々のために、願いと、祈と、とりなしと、感謝とをささげなさい。(2) それはわたしたちが、安らかに 静かな 一生を、真に 信心深く また 謹厳に 過 ぐすためである。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G2150 eusebeia

まず、すべての人のために祈りが献げられ、また王たちとすべての権威ある者たちのために祈りが献げられるように。→ すべての敬虔と誠実をもって、静かで平穏な生活を送るために。

K. テモテへの第一の手紙 6:6 しかし、信心があつて 足 ることを 知るのは、大きな 利得 である。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G2150 eusebeia

満足を伴う敬虔は大いなる利益である。

L. テトスへの手紙 2:12 そして、わたしたちを 導 き、不信心とこの世の情欲とを捨てて、慎み深く、正しく、信心深くこの世で生活し、

原語キー / **STRONG'** S: ■ G763 asebeia ・ ■ G2153 eusebos

不敬虔を否定すること → この世にあつて、慎み深く、正しく、敬虔に生きる。

(私自身の思い——ここに、それを日々守ることを記す。静かな生活、満ち足りた心、慎ましい歩み。asebeia(G763、不敬虔)は退けられねばならず、eusebos(G2153、敬虔)は生きられねばならない——この今の世において、来るべき世だけではなく。そして大いなる利得とは、より多くの財ではない。それは敬虔と満足であり——autarkeia(G841、満足)、ストロングはこれを充足、すなわち十分であることと呼ぶ。そのように歩めば、あなたは走る備えができています。)

III. 競走を走る — 神の軍隊の兵士のようにそれに従う

(私個人の思い——今、歩みは競走となり、競走は戦いとなる。ギリシャ語に隠されたことに気づいてほしい。信仰の良き戦いと、私たちの前に置かれた競走は、ひとつの言葉の上に成り立っている——タグを見よ、両方ともG73だ——そしてストロング辞典はこの一語を、争い、闘争、戦い、競走と訳している。この競走を走ること、この戦いを戦うことそのものである。だから神の人は走者であり兵士でもある——彼は敬虔を追い求め、自分の肢体を義の器として神にささげるのだ。)

A. テモテへの第一の手紙 6:11 しかし、神の人よ。あなたはこれらの事を 避けなさい。そして、義と信心と信仰と愛と忍耐と柔和とを 追 い 求 めなさい。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G2150 eusebeia

しかし、神の人よ。あなたはこれらの事を 避けなさい + そして、義と信心と信仰と愛と忍耐と柔和とを 追 い 求 めなさい。

B. ペテロの第二の手紙 1:6 知識に 節制を、節制に 忍耐を、忍耐に 信心を、

原語キー / **STRONG'** S: ■ G2150 eusebeia

節制に忍耐を、忍耐に信心を。

(私の個人的な思い——パウロはそれを追い求めよと言い、ペテロははしごの中にそれを置いている——忍耐に敬虔を。敬虔ははしごの最初の段ではなく、最後の段でもない。それは上っていく途中に立っている。人はそれを追い求め、一段一段、それを加えていく。)

C. テモテへの第一の手紙 6:12 信仰の戦いをりっぱに戦いぬいて、永遠のいのちを獲得しなさい。あなたは、そのために召され、多くの証人の前で、りっぱなあかしをしたのである。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G73 agon

信仰の戦いを立派に戦い抜き、永遠の命を捕らえよ。

D. テモテへの第一の手紙 1:18 わたしの子 テモテよ。以前 あなたに対してなされた数々の預言の言葉に従って、この命令を与える。あなたは、これらの言葉に励まされて、信仰と正しい良心とを保ちながら、りっぱに戦いぬきなさい。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G4754 strateuomai ・ ■ G4752 strateia

この命令を汝に委ぬ → 汝をして善き戦闘を戦わしめんためなり。

E. テモテへの第二の手紙 2:3 キリスト・イエスの良い兵卒として、わたしと苦しみを共にしてほしい。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G4757 stratiotes

艱難に耐えよ。イエス・キリストの良き兵士として。

F. テモテへの第二の手紙 2:4 兵役に服している者は、日常生活の事に煩わされてはいない。ただ、兵を募った司令官を喜ばせようと努める。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G1707 empleko

兵役に服する者は、自分を選んだ者を喜ばせるために、この世の生活の事に自分を絡ませることはしない。

(私自身の思い——兵士は身軽に旅をし、走る者もまた同様である。一方は今生のことに絡め取られず、もう一方はあらゆる重荷を捨て去る。両者が教えることはただ一つ、すなわち、走り終えることができるように、荷を少なく携えよということである。そして、なぜ兵士が自由になるのかに注目せよ——それは彼を選んだ方を喜ばせるためである。競走は人の目のために走るのではなく、彼のために走るのである。)

G. エペソ人への手紙 6:11 悪魔の策略に対抗して立ちうるために、神の武具で身を固めなさい。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G3833 panoplia

神の全身の甲冑を身に着けよ —— 立つことができるために。

H. ローマ人への手紙 6:13 また、あなたがたの肢体を不義の武器として罪にささげてはならない。むしろ、死人の中から生かされた者として、自分自身を神にささげ、自分の肢体を義の武器として神にささげるがよい。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G3936 paristemi

自分自身を神に献げ、あなたがたの肢体を義の器として神に献げなさい。

I. テモテへの第二の手紙 3:12 いったい、キリスト・イエスにあって信心深く生きようとする者は、みな、迫害を受ける。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G2153 eusebos

いったい、キリスト・イエスにあって信心深く生きようとする者は → みな、迫害を受ける。

(私自身の思い——ここで代価を数えよ。そして、それが来るときに動揺してはならない。キリスト・イエスにあってエウセボース(G2153、敬虔)に生きようとする者は皆、迫害を受ける。一部の者ではなく、また、もしかしたら、でもない。迫害は歩みが誤った証拠ではなく、正しい道を歩んでいる証拠である。艱難に耐えよ。)

J. コリント人への第一の手紙 9:24 あなたがたは知らないのか。競技場で走る者は、みな走りはするが、賞を得る者はひとりだけである。あなたがたも、賞を得るように走りなさい。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G4712 stadion

競走をする者はみな走る + あなたがたも、獲るように走りなさい。

K. コリント人への第一の手紙 9:25 しかし、すべて競技をする者は、何ごとにも節制をする。彼らは朽ちる冠を得るためにそうするが、わたしたちは朽ちない冠を得るためにそうするのである。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G75 agonizomai

すべての事において節制する + 彼らは朽つる冠のため → 我らは朽ちぬ冠のため。

L. ヘブル人への手紙 12:1 こういうわけで、わたしたちは、このような多くの証人に雲のように囲まれているのであるから、いっさいの重荷と、からみつく罪とをかなぐり捨てて、わたしたちの参加すべき競走

を、耐え忍んで走りぬこうではないか。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G73 agon

あらゆる重荷を捨て去り、私たちの前に置かれている競走を忍耐をもって走り抜けよ。

M. イザヤ書 40:31 しかし主を待ち望む者は新たなる力を得、わしのように翼をはって、のぼることができる。走っても疲れることなく、歩いても弱ることはない。

原語キー / **STRONG'** S: ■ H7323 ruwts ・ ■ H3212 yalak

主を待ち望む者は新たなる力を得、走って倦れず、歩みて疲れざるべし。

(私の個人的な思い——預言者は全行程をひと言に凝縮している。舞い上がり、走り、歩む。神は走る者が疲れることをご存じである。ゆえにその力は走る者自身のものではない。主を待ち望む者はその力を新たにされる——彼の力、あなたの歩み、最後まで。走れ、疲れてはならない。歩め、弱ってはならない。その道筋はあなたの前にある。)

IV. ゴール——敬虔、そして御言葉は、とこしえに残る

(私自身の思い——すべての競走には終わりがあり、その終わりは壁ではなく、冠である。使徒パウロがゴールラインで語る言葉を聞こう。すでに献げられる用意ができており、走るべき道を走り終え、信仰を守り抜いた——そして彼が語るその道、その印、G1408を見よ。ストロング辞典はこれを競走と呼ぶ。そして、そのラインの先にあるものに注目せよ。用意された冠、栄光、そして、それらすべてを約束し、永遠に続く御言葉を。)

A. テモテへの第一の手紙 4:8 からだの訓練は少しは益するところがあるが、信心は、今のいのちと後の世のいのちとが約束されてあるので、万事に益となる。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G1129 gymnasia ・ ■ G2150 eusebeia

肉体の修行はいくらか益あるものなれど、敬虔は凡ての事に益あり、今の生命と後の生命との約束を有す。

B. テモテへの第二の手紙 4:6 わたしは、すでに自身を犠牲としてささげている。わたしが世を去るべき時はきた。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G359 analusis

わたしは、すでに自身を犠牲としてささげている+わたしが世を去るべき時はきた。

C. テモテへの第二の手紙 4:7 わたしは戦いをりっぱに戦いぬき、走るべき行程を走りつくし、信仰を守りとおした。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G73 agon ・ ■ G1408 dromos

わたしは戦いをりっぱに戦いぬき+走るべき行程を走りつくし+信仰を守りとおした。

D. テモテへの第二の手紙 4:8 今や、義の冠がわたしを待っているばかりである。かの日には、公平な審判者である主が、それを授けて下さるであろう。わたしばかりではなく、主の出現を心から待ち望んでいたすべての人にも授けて下さるであろう。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G4735 stephanos

義の冠+わたしだけでなく、彼の現れを愛するすべての人にも与えられる。

(私の個人的な思い——冠は一人の走者のためだけではない。私だけでなく、とパウロは言う、彼の現れを慕うすべての者にも与えられると。同じラインがあなたの前にも横たわっており、同じ義なる審判者がそこに立っておられる。彼の現れを慕い、あなたの走るべき道程を走り終えなさい。)

E. ヘブル人への手紙 12:2 信仰の導き手であり、またその完成者であるイエスを仰ぎ見つつ、走ろうではないか。彼は、自分の前におかれている喜びのゆえに、恥をもいとわないで十字架を忍び、神の御座の右に座するに至ったのである。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G5051 teleiotes

イエスを見つめる=我らの信仰の創始者であり完成者である方。

F. テモテへの第一の手紙 3:16 確かに偉大なのは、この信心の奥義である、「キリストは肉において現れ、霊において義とせられ、御使たちに見られ、諸国民の間に伝えられ、世界の中で信じられ、栄光のうちに天に上げられた」。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G2150 eusebeia

敬虔の奥義——神は肉において現れ——栄光のうちに上げられた。

(私個人の思い——敬虔の奥義がこの学びを開き、そしてそれを閉じる。それは、神が人の肉体において現された、というところから始まる——そこに敬虔が見出される。それは、栄光のうちに上げられた、というところで終わる——そこで歩みは終わ

る。キリストご自身がその全行程を先に歩まれ、これを成し遂げられた。あなたが行く道は、すでに行かれた道であり、あなたの信仰の完成者は、その道の終わりに立っておられる。)

G. ペテロの第一の手紙 1:24 「人はみな草のごとく、その栄華はみな草の花に似ている。草は枯れ、花は散る。しかし、主の言葉は、とこしえに残る」。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G5528 chortos

「人はみな草のごとく + 花は散る。しかし、主の言葉は、とこしえに残る」。

H. ペテロの第一の手紙 1:25 これが、あなたがたに 宣 べ 伝 えられた 御言葉 である。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G3306 meno

されど主の言は永遠に保つ + これ即ち汝らに 宣べ伝えたる福音の言なり

I. イザヤ書 40:8 草は枯れ、花はしぼむ。しかし、われわれの神の言葉はとこしえに 変 ることではない。

原語キー / **STRONG'** S: ■ H1697 dabar

草は枯れ、花はしぼむ。しかし + われわれの神の言葉はとこしえに 変 ることではない」。

(私自身の思うところーペテロをイザヤと並べて置き、一つの声を聞くがよい。イザヤは言う、我らの神の言はとこしえに立つと。ペテロは言う、主の言はとこしえに存すとーそして「存す」(G3306のタグを見よ)と訳された語は、まさに「とどまる」と訳される語である。イザヤは遥か以前にこれを記し、ペテロは遥か後にこれを証したー同じ言は今なお立ち、その福音によって汝らに 宣べ伝えられたのである。言はとどまることによって自らを証する。そして敬虔もこれと共にとどまる、敬虔は今の生命と、来るべき生命との約束を持つゆえに。)

J. 詩篇 119:89 主よ、あなたのみ 言葉 は 天 においてとこしえに 堅 く 定 まり、

原語キー / **STRONG'** S: ■ H5324 natsab

主よ、あなたのみ 言葉 は 天 においてとこしえに 堅 く 定 まり、

K. マタイによる福音書 24:35 天地 は 滅 びるであろう。しかしわたしの 言葉 は 滅 びることがない。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G3056 logos

天地 は 滅 びるであろう + しかしわたしの 言葉 は 滅 びることがない、

(私の個人的な思いー肉は草であり、この世は過ぎ去る。天も地も過ぎ去るであろう。しかし、御言葉は過ぎ去らない。敬虔のために走る者は、永遠に続くもののために走っているのである。この競走において、その道のりの終わりに失われるものは何もない。あなたをこの道へと召した御言葉は、他のすべてが崩れ去るときにも、なお立っている。)

二人の口

テモテへの第二の手紙 4:8 今や、義の冠がわたしを待っているばかりである。かの日には、公平な審判者である主が、それを授けて下さるであろう。わたしばかりではなく、主の出現を心から待ち望んでいたすべての人にも授けて下さるであろう。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G4735 stephanos

義の冠、主の現れを愛する者たちすべてにも。

ヨハネの黙示録 2:10 あなたの受けようとする苦しみを恐れてはならない。見よ、悪魔が、あなたがたのうちのある者をためすために、獄に入れようとしている。あなたがたは十日の間、苦難にあうであろう。死に至るまで忠実であれ。そうすれば、いのちの冠を与えよう。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G4735 stephanos

死に至るまで忠実であれ。→ われ汝に生命の冠を与えん。

ペテロの第一の手紙 5:4 そうすれば、大牧者が現れる時には、しぼむことのない栄光の冠を受けるであろう。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G262 amarantinos

そうすれば、大牧者が現れる時には→ しぼむことのない栄光の冠を受けるであろう、

コリント人への第二の手紙 13:1 わたしは今、三度目にあなたがたの所に行こうとしている。すべての事からは、ふたりか三人の証人の証言によって 確定 する。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G3144 martus

すべての事からは、ふたりか三人の証人の証言によって 確定 する、

(私個人の思いー競走の終わりに三人の証人が立ち、それぞれが冠を差し出している。パウロは言う、かの日には義の冠が、と。主はヨハネを通して言われる、死に至るまで忠実であれ、そして命の冠を、と。ペテロは言う、大牧者が現れるとき、しほ

まない栄光の冠を、と。義、命、栄光——二人または三人の証人の口によって事は確定する。この競走の終わりは冠であり、それはしぼむことがない。)

影と実現

Shadow 創世記 5:24 エノクは神とともに歩み、神が彼を取られたので、いなくなった。

原語キー / STRONG' S: ■ H1980 halak

エノクは神とともに歩み→いなくなった。

Fulfillment ヘブル人への手紙 11:5 信仰によって、エノクは死を見ないように天に移された。神がお移しになったので、彼は見えなくなった。彼が移される前に、神に喜ばれた者と、あかしされていたからである。

原語キー / STRONG' S: ■ G3346 metatithemi

信仰によって、エノクは死を見ないように天に移された+神に喜ばれた者と、あかしされていたからである。

Fulfillment テサロニケ人への第一の手紙 4:17 それから生き残っているわたしたちが、彼らと共に雲に包まれて引き上げられ、空中で主に会い、こうして、いつも主と共にいるであろう。

原語キー / STRONG' S: ■ G726 harpazo

共に引き上げられ+空中で主に会う→このようにして、私たちはいつも主と共にいるであろう。

(私個人の思い——モーセは簡潔にこう記した。彼は神とともに歩み、そしていなくなった。新約聖書はこれを広く開いて示す。彼は移された、死を見ないためであった。そしてその移される前に、彼が神を喜ばせたという証しがあった。そこに一人の人の歩みのすべてがある——彼は歩み、神を喜ばせ、神が彼を取り上げられた。そして敬虔の奥義も同じように終わる、栄光のうちに上げられて。彼とともに歩む者は皆そうなる——引き上げられ、いつまでも主とともにいるのである。神との歩みは墓で終わるのではない。それは主ご自身で終わるのである。)

閉会

ピリピ人への手紙 1:6 そして、あなたがたのうちに良いわざを始められたかたが、キリスト・イエスの日までにそれを完成して下さるにちがいないと、確信している。

原語キー / STRONG' S: ■ G2005 epiteleo

あなたがたの中に良い働きを始められた方は——→キリスト・イエスの日まで、それを成し遂げてくださる。

ユダの手紙 1:24 あなたがたを守ってつまずかない者とし、また、その栄光のまえに傷なき者として、喜びのうちに立たせて下さるかた、

原語キー / STRONG' S: ■ G679 aptaistos

あなたがたを転ぶことなく守り、その栄光の御前に喜びにあふれて傷なき者として立たせることができる。

(私自身の思い——さあ、家路までの道をすべて集めよう。まず這うこと。敬虔は自分自身の力ではない。それは彼の神の力によって与えられ、ある一人の方の中に見出される——敬虔の奥義、肉において顕された神。次に歩むこと。エノクが歩んだように、ノアが歩んだように、アブラムに命じられたように——わたしの前に歩み、全き者となれ。彼の中を歩め、彼が歩まれたのと同じように。次に競走と戦い。敬虔を追い求めよ、善い戦いを戦え、艱難に耐えよ、あなたの肢体を神にささげよ。次に一線。走るべき道を走り終え、信仰を守り、冠が用意されている——そしてそのすべての下に、決して滅びることのない御言葉がある。そしてそのタグ、G2005を見よ。ストロングによれば、この約束における「成し遂げる」という語は、完成させる、仕上げるという意味である——あなたの内に良い働きを始められた方は、それをFINISH〈完成〉させてくださる。彼はあなたに歩むことを教えられた。彼はあなたを守って倒れさせないことができる。彼は大きな喜びをもってあなたを一線の向こうへと導かれる。歩み続けよ。)

練習クイズ

1. テモテへの第一の書 6章6節——しかし、信心があって足ることを知るのは、

- a) 大きな利得
- b) 大いなる平安
- c) すべてのことに有益である

2. 創世記5:24——エノクは神とともに歩み、いなくなった。それは:

- a) 主が彼に現れた

神が彼を取られた
c) 彼は神を喜ばせた

3. ペテロの第二 1:3 — 「神の神聖な力は、わたしたちに次のことにかかわるすべてのものを与えてくださった。」

- a) 栄光と徳
- b) いのちと信心と
- c) 義と誠実

4. テモテへの第二の手紙 2:4 — 兵役に服している者は、次のことに煩わされてはいない:

- a) 悪魔の策略
- b) 私たちにまつわりつく罪
- この世の生活のこと

5. テモテへの第一の手紙 3:16 — 確かに偉大なのは、この信心の奥義である、「キリストは肉において現れ、霊において義とせられ、御使たちに見られ、諸国民の間に伝えられ、世界の中で信じられ、:

- 栄光
- b) 天
- c) 雲

6. テモテへの第二の手紙 4章8節 — 今からは、わたしのために用意されている冠は:

- a) 命
- b) 栄光
- 義

7. ペテロの第一の手紙 1章25節 — しかし、主の言葉は永遠に変わることがない。これが、あなたがたに宣べ伝えられた御言葉である。

- a) 天にとどめられている
- b) あなたがたに宣べ伝えられた御言葉によって
- c) 過ぎ去ることはない

解答:1-a、2-b、3-b、4-c、5-a、6-c、7-b

このスタディの分岐

→ 影がどのようにして光をもたらすか、二人の人が神とともに歩み、取られた——エノクは死を見ないように移された(ヘブル人への手紙11:5)、そしてエリヤはつむじ風に乗って天に上った(列王紀下2:11)——彼らを、生きて残っている者たち、空中で主に会うために引き上げられる者たち(テサロニケ人への第一の手紙4:17)と並べ置き、それ自体の研究に備えさせる。

新しい契約がこれをどう説明しているか。アブラムには「わたしの前に歩み、全き者であれ」(創世記17:1)と言われ、私たちには「神の神能力は、生命と敬虔とに関するすべての事を私たちに賜った」(ペテロ第二1:3)と言われている——命じられたことが、今やキリストにあって与えられているのである。

言葉がいかに重要であるかについて:テモテ前書6:12の「戦い」とヘブル人への手紙12:1の「競走」は同じギリシャ語(G73—争い、戦い、競走)であり、ガラテヤ人への手紙5:25(G4748)の「歩み」は、兵士が行進するように、隊列の歩調を保つことを意味する。どの言葉がどこに置かれているか、そしてなぜそうなのかに注目せよ。

それが永遠にまで及ぶ次第——敬虔は今の生命と、また来るべき生命との約束を持つ(テモテ前書4:8)——そして義の冠は、パウロにのみ与えられるのではなく、主の現れを愛する者たちすべてにも与えられる(テモテ後書4:8)。

余談:敬虔の奥義(テモテ第一 3:16)は、不法の奥義(テサロニケ第二 2:7)と対をなしている——一人の使徒の口から語られた二つの奥義であり、それぞれが人々のうちに働いている——探り究めよ。

あり得る啓示:ペテロ前書一章二十五節で「存す」と訳されている語(G3306)は、まさにぶどうの木の譬えて「居る」と訳されている、その語である——われに居れ(ヨハネ十五章四節)。この言葉は永遠に存す。彼に居れ、そうすれば汝は滅び去ることのないものの中に居るのである。

SOURCES & CREDITS

Scripture: Kougo (Colloquial) (Public Domain (1955 口語訳聖書 — Japan Bible Society's own copyright page confirms the copyright protection period has ended; see registry/JAPANESE_LEGAL_PATH.md. Moral/integrity rights are preserved under Japanese law, so the text is rendered verbatim only,

never altered -- pipeline.VERBATIM_LANGS.)) — a redistributable edition, looked up exactly and never machine-translated.

Alternate chapter/verse numbering reconciled with STEP Bible TVTMS (CC BY 4.0).

Strong's numbering & original-language data: OpenScriptures Hebrew Bible (CC BY 4.0); STEP Bible.org — TAHOT/TAGNT/TBESH/TBESG (CC BY 4.0); Robinson-Pierpont Byzantine Majority Text (Public Domain); Strong's dictionary, 1890 (Public Domain).

Typography: Google Noto fonts (SIL Open Font License 1.1).

© SEE MORE JESUS • wanttoseemore.com — shared under Creative Commons Attribution 4.0 (CC BY 4.0).